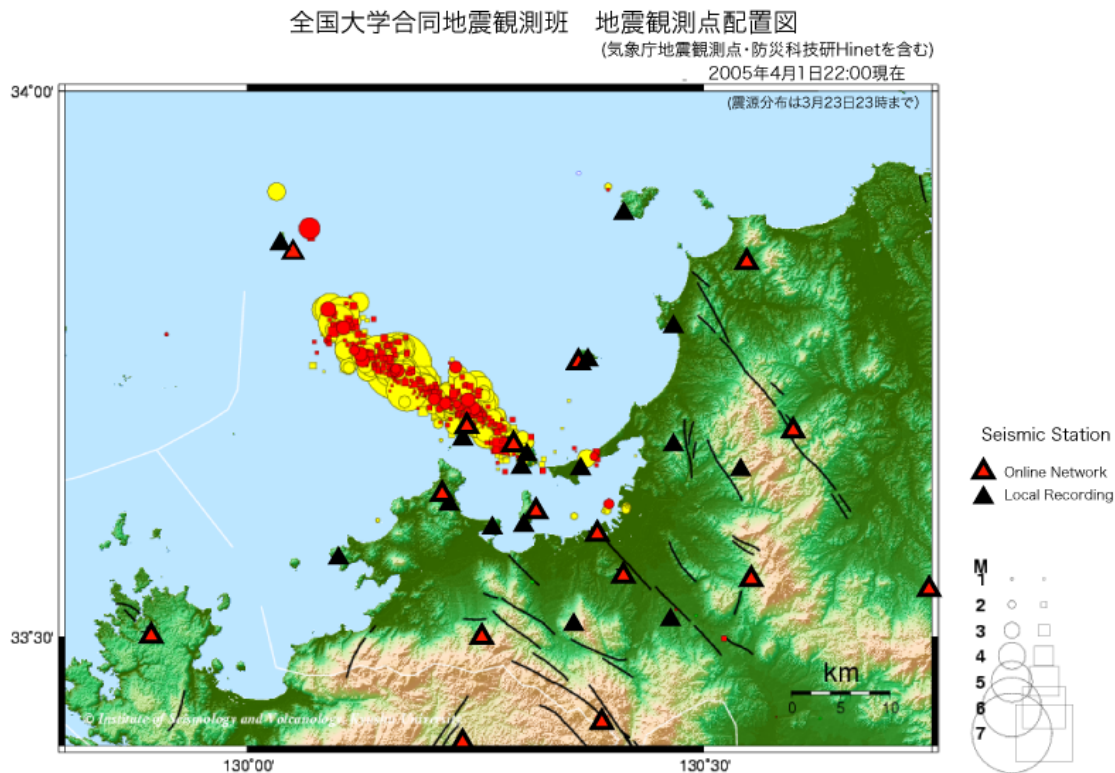


福岡県西方沖地震の活動について

地震発生直後より、精度の良い震源分布や地下構造を求めるために、北海道大学・東北大学・東京大学・京都大学・鹿児島大学らとともに陸上地震観測点の展開を行った。4/7日現在、テレメータによるオンラインの観測点が6点、現地収録型のレコーダを使用した観測点が15点展開されている。オンライン観測点のうち4点が気象庁に提供されている。

既存の定常観測点とともに、観測点の位置を下図に示す。尚、この中には気象庁・防災科学技術研究所の観測点も含まれる。



また、震央が海域であることから、東京大学とともに、震源域直上及びその周辺に計11点の海底地震計を展開した(下図)。観測点の展開は3/26から27日にかけて行った。

